活力ある産業の実現

山形県知事を囲む産官懇談会

山形産業人クラブは日刊工業新聞社と共催で、7月23日に「山形県知事を囲む産官懇談会」を山形市のパレスグランデールで開いた。「『山形の強み』が生み出す活力ある産業の実現」をテーマに、今後の産業政策の方向、有機エレクトロニクス産業の集積に向けた取り組みや超精密加工プロジェクトの動き、自動車関連産業の育成、産業人材の育成など、産業の持続的な発展を目指す山形県の対応について知事の考えを聞いた。

ごあいさつ

「人材育成」を政策の基盤に

山形県知事
吉村　美栄子氏

本日はお招きいただきましてありがとうございます。産官懇談会の開催にあたりまして、ごあいさつ申し上げます。皆様方には日頃から山形県の産業振興だけでなく、地域社会の発展に多大な貢献をいただいていますことに厚く御礼申し上げます。本日は皆さまと懇談させていただける貴重な機会ですのでよろしくお願い申し上げます。

さて、景気の話になりますが、県内の景況は緩やかな改善傾向と見られています。雇用を見ましても、着実に改善していると言われておりますが、見通しははっきりしていない状況です。円高や原油高など厳しい経営環境も認識しています。先行き不透明でもあり、まだまだ良い方向にいけるとは言えない状況にあると感じています。そうした中で、本県の「第3次山形県総合発展計画　短期アクションプラン」が3年目に入りました。これまで一つには景気と雇用を切り口に取り組んできましたが、今回の震災を経験いたしますと、産業振興と人材育成が危機の中では大事であると思っています。

今年度は「元気再生の年」と位置づけておりまして、人材育成という視点をすべての政策の基盤に置いて取り組んでいるところです。産業振興に向けて産業界の皆さまから具体的なご意見をうかがいながら、進めていきたいと思っています。

また再生可能エネルギー導入拡大に向けた県のエネルギー戦略につきましても、ただ安全な社会という視点だけではなく、そこに産業振興があり、技術革新につながると感じています。エネルギー関連は成長分野の一つでもあり、県内の産業界に頑張っていただきたい。

本日は貴重な機会でもあり、山形産業人クラブの皆さまと実りのある懇談をさせていただきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

山形県産業政策の方向性について

エムテックスマツムラ会長
松村　英一氏

国内経済は震災後の復興需要などを背景に緩やかに景気の回復が進みつつあるように思えます。ただ世界規模で見ますと、新興国の勢いがここにきて鈍くなるなど、世界経済は中長期的に不安な状況にある。歴史的な円高により、大手企業の海外移転の動きも加速しています。こうした中で、我々地域の中小企業は苦境に立たされており、国内で経営を進める上でさまざまな課題を抱えているといえます。また電力供給面での不安も浮上しています。そこで、山形県としては本県の「強み」を生かした産業政策が一段と求められていると思います。県としては今後どのような方向性で産業振興に取り組んでいくのか。産業政策の方向性についてお聞かせ下さい。

松村氏

吉村知事　県民一人ひとりが活き活きと輝き、県民所得を向上させ、安心して暮らせる社会を実現していくには、本県の産業基盤や研究基盤などの強みを活かした幅広い分野での産業振興が重要であると考えています。山形県の産業の中核であるものづくり産業の振興では、経済のグローバル化により激化する競争に勝ち抜くため、有機エレクトロ・ルミネッセンス（EL）関連事業など他県に先行している技術があり、こうしたところを早期に事業化することが大事だと思います。さらに自動車関連産業、新エネルギー関連分野、食品関連など今後の成長分野への参入促進などに向けた取り組みを進め、付加価値を増やしていくことを目指します。また、企業個々の企画開発力、技術力、販売力など経営力の強化を図ることが必要。そこで、経営人材の育成・研修をはじめ県工業技術センターや大学を活用した技術力向上、国内外の販路拡大など細やかな施策を展開していきたいと考えています。

当面のエネルギー問題ですが、先の原発事故を踏まえ、原子力発電への依存度合いを徐々に少なくしながら、ゆくゆくは原子力に頼らない社会の実現に向けて本県にある豊富な再生可能エネルギー資源の活用、開発に努めて電力を増やすことをしていきたい。それが産業振興や技術革新にもつながると思っています。さらには、震災や円高の長期化などにより経営環境が厳しさを増している中小・小規模企業がそれぞれの強みである技術や人材といった経営資源を活かして事業を発展させて「元気」になることも課題であります。県としても中小・小規模企業の潜在力や底力を引き出すため、引き続き地域の実情や現場の声を踏まえながら、前向きな取り組みを積極的に支援していく所存です。

企業の潜在力　引き出す

有機エレクトロニクス産業集積の促進などについて

スズキハイテック社長
鈴木　喜代壽氏

県内産業におきましても、モノづくり産業が大きなウエートを占めています。その発展に向けてはモノづくり産業の強みの源泉である技術力などを一段と引き上げる取り組みが大切であります。県は先端的な技術の高度化において、有機エレクトロニクス関連産業の集積を掲げています。これまでの研究開発成果などを県内企業に着実に技術移転し、山形の新たな強みを生み出していくことが求められております。その中で、有機ELパネルの用途開発支援など関連施策の取り組みの状況はいかがでしょうか。また同じく県が力を入れている超精密加工と微小電気機械システム（MEMS）などの異分野技術を融合するプロジェクトの進捗（しんちょく）について、どのようになっているのかお聞きします。

吉村知事　有機エレクトロニクス関係の取り組みですが、本県がこれまでの研究成果を活かして先行者利益を享受していくためには、他の地域に先駆けて有機EL照明関連産業の集積形成を図っていくことが重要であると考えています。このため、県では産業集積の核となる有機EL照明パネル製造事業会社がしっかりと県内に定着していくよう、その性能向上や低コスト化をサポートしています。今後量産工場などが設置される際には立地補助金などによる支援も検討してまいります。

さらに県内企業による有機EL照明分野への進出を促進し、産業集積を形成していくため、米沢市に設置している有機エレクトロニクス事業化推進センターにおいてOLED（オーレッド）ヤマガタという研究会を組織して企業へのさまざまな技術情報の提供などを行っています。また県内企業が有機ELを応用し、例えば芸術品の展示照明や工業製品の検査照明などの試作品を製造する際には、必要な経費の一部を助成するなどの支援を行っているところです。

今後は有機エレクトロニクスに関する本県の拠点性を一層高めていくことで、県内外から関連する企業や人材を引き寄せ続け、その活動を通じて新たな事業の芽の創出につなげていきたいと考えています。具体的には山形大学が行っている「有機ELの新たな低コスト生産技術」などの開発に向けた基礎研究を支援。現在整備中の有機エレクトロニクスイノベーションセンターにおける事業化に向けた山形大の取り組みを支援して、研究成果の事業化・産業化を促進したいと考えます。そうした施策を強力に進めることで、「有機ELといえば山形」「有機エレクトロニクスといえば山形」の実現を目指してまいります。

一方、超精密加工プロジェクト関係の取り組みですが、具体的には自動車や電機など本県にとって重要な分野で必要とされる高度な樹脂製品と、これを製作するための高機能な金型の開発などに取り組んでいます。2010年度から始まったプロジェクトでは、新たな微細加工技術と、金型や樹脂成形に関する高度な設計技術を確立してきました。今年度からは、具体的な製品づくりに向けて企業との共同試作を行う「実用化促進事業」をスタート。自動車用樹脂製品など企業と共同で製品化を進めているところです。

研究会組織し事業化促進

出席者

〈山形県〉
山形県知事　吉村　美栄子氏
商工労働観光部長　深澤　良光氏
産業政策課長　山川　秀秋氏
工業振興課長　加藤　秀一氏
経済交流課長　平山　雅之氏
雇用対策課　阿部　茂夫氏
産業人材育成主幹

〈質問者〉
エムテックスマツムラ会長　松村　英一氏
スズキハイテック社長　鈴木　喜代壽氏
伊藤製作所社長　伊藤　明彦氏
片桐製作所社長　片桐　鉄哉氏

〈日刊工業新聞社〉専務　佐野　友昭
司会＝山形支局長・大矢　修一

JUST　めっき・表面処理　ダイヤモンド電着
ジャスト株式会社
代表取締役社長　岡崎　淳一
〒999-3103　山形県上山市金谷字下河原1360
TEL（023）673-5125㈹　FAX（023）673-5189
http://www.yamagata-just.co.jp

～販売に、確かな技術と情報を添えて～
多種製品取扱いと専門ならではの技術サポート
ISO9001 認証取得
ISO14001 認証取得
■制御機器専門商社
高洋電機株式会社
本　社／山形市長苗代55番地
http://www.dkoyo.co.jp

NittoBest　未来の食生活をみつめて
日東ベスト株式会社
代表取締役会長　鈴木　俊幸
本　社／山形県寒河江市幸町4-27　☎0237-86-2100㈹
中央研究所
http://www.nittobest.co.jp/

Pioneer
東北パイオニア株式会社
代表取締役社長　塩野　俊司
〒994-8585　山形県天童市大字久野本字日光1105
TEL 代表 023-654-1211
http://www.pioneer.co.jp/topec/

超精密金属機構部品製造
半導体から航空機まで
米沢放電

Yurtec
株式会社ユアテック山形支社
執行役員支社長　小松　成夫
〒990-0073 山形市大野目3－5－7
TEL：023－632－3131
FAX：023－626－1357
営業所／山形・寒河江・天童・新庄・米沢・酒田・鶴岡

熱　処　理
専門工場
金属表面硬化、調質、真空炉、焼鈍、黒染、パーカー、窒化、軽合金、金型焼入
イネツ
㈱伊藤熱処理
本社工場　山形市銅町1丁目8－38　電話(023)622－9452㈹
イネツ仙台　仙台市若林区六丁の目元町8－18号　電話(022)288－6118㈹
伊熱いわき　いわき市常磐関船字宮下41－1　電話(0246)44－5690
石川工場　福島県石川郡石川町字大橋2－17　電話(0247)26－0882
鐵に魂を入れる
山形本社工場　イネツ仙台　石川工場　伊熱いわき

GET good Future with CS
半世紀以上の歴史の中で培われた超精密微細加工技術に加え、ハード・ソフト双方の最先端技術を蓄積。国内事業所と海外事業所のシナジー効果を高め、「エンジニアリング」と「グローバリゼーション」をキーワードに品質と防災の徹底により、安全と安心を添えたMTEXブランドを世界に向けて発信し、未来を見据えたワールドワイドな事業展開を図ります。
Yes, We can!
お客様とともに未来を築く
エムテックスマツムラ株式会社
●本社・天童事業所
〒994-8501　山形県天童市北久野本1-7-43　TEL023-654-3211㈹　FAX023-654-9088
●尾花沢事業所
〒999-4231　山形県尾花沢市北町2-2-2　TEL0237-22-1151㈹　FAX0237-22-1150
●福岡営業所
〒810-0001　福岡県福岡市中央区天神1-9-17 福岡天神フコク生命ビル15F
TEL092-717-3923
〈関連会社〉㈱新庄エレメックス／エムソフト㈱
MTEX(VIETNAM) CO.,LTD

半導体製造装置・自動車部品・繊維機械部品
一般産業用機械精密部品の製造
空気圧トルクアクチュエーター
半導体製造装置部品
株式会社　伊藤製作所
代表取締役社長　伊藤　明彦
本社・工場
〒990-2445　山形市南栄町一丁目5番16号
電話　023-642-0255
FAX　023-641-6996

エレクトロニクス・自動車分野を支える表面処理技術
確かな表面処理技術で環境に貢献
私達はナノレベルの表面処理技術開発により、先端技術開発と地球環境の保全を行ないます。
JQA-QMA10902　JQA-EM1542
事業部門
■電子部品めっき部門
■自動車部品めっき・化成処理部門
■塗装部門
尾長島工場
スズキハイテック株式会社
本社・工場／〒990-0051 山形市銅町2－2－30　TEL.023(631)4703
尾長島工場／〒999-0213 川西町大字尾長島740－12　TEL.0238(54)3615